

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	脊髄損傷の理学療法学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	前期	教室名	302 他
担 当 教 員	坂田 年彦	実務経験と その関連資格	理学療法士として医療機関に勤務経験(脊髄損傷患者への理学療法実績)あり。修士(人間科学)取得、日本物理療法学会などで発表経験あり。			
《授業科目における学習内容》						
脊髄損傷疾患に対する特有の評価から治療技術、問題解決までの理学療法を、演習を交えながら学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
授業レポート(20%)、筆記試験(80%)で評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
理学療法ハンドブック 第2巻 第3巻						
《授業外における学習方法》						
解剖学的な神経伝導路の復習を行ってから臨むこと						
《履修に当たっての留意点》						
課題の提出期限遅れは加点しないものとする						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄の役割と伝導路が説明できる	教科書 電気回路	脊髄の解剖生理学について復習	
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷に関する解剖生理学			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄が損傷した場合に起こる障害について説明できる	教科書	脊髄の解剖生理学について復習	
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷のメカニズム			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	ASIA、Frankel分類などを理解し説明できる	教科書	脊髄の解剖生理学について復習	
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷の評価(Frankel分類)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	ASIA、Frankel分類などを理解し説明できる	教科書	脊髄の解剖生理学について復習	
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷の評価(デルマトーム、キーマッスル)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADL予測、合併症などを理解し説明できる	教科書	脊髄の解剖生理学について復習	
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷の評価(ADL予測)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	高位頸髄損傷患者のADL訓練について説明、実施できる	教科書	脊髄の解剖生理学について復習
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷の訓練(総論・到達可能ADL)		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	頸髄損傷患者のマット上動作訓練について説明、実施できる	教科書	脊髄の解剖生理学について復習
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷の訓練(上位脊髄損傷・マット上動作)		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	胸髄・腰髄損傷患者のマット上動作訓練について説明、実施できる	教科書	脊髄の解剖生理学について復習
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷の訓練(下位脊髄損傷・マット上動作)		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷患者のベッド上動作訓練について説明、実施できる	教科書	脊髄の解剖生理学について復習
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷の訓練(上位脊髄損傷・ベッド上動作)		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷患者のベッド上動作訓練について説明、実施できる	教科書 ポジショニング枕	脊髄の解剖生理学について復習
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷の訓練(下位脊髄損傷・ベッド上動作)		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷患者の移動・移乗訓練について説明、実施できる	教科書 車いす PTイレ	脊髄の解剖生理学について復習
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷の訓練(移乗・車椅子)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷患者のADLをFIMに沿って説明できる	教科書	脊髄の解剖生理学について復習
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷の訓練(日常生活)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷患者のポジショニング方法について説明、実施できる	教科書 ポジショニング枕	脊髄の解剖生理学について復習
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷の治療・管理法(ポジショニング)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷患者の排尿排便管理・体温調整について説明できる	教科書	脊髄の解剖生理学について復習
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷の治療・管理法(排尿排便管理・体温調整)		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷患者の移動補助具について説明でき、前輪上げを実施できる	教科書 車いす	脊髄の解剖生理学について復習
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷と車いす・機器・自助具		